

淀川水系流域委員会 御中

川上ダム早期着年の意見書

近畿整備局が利水持続の一部を断り、治水ダムとして川上ダムの推進の発表があり、念願の上水道の施設に明るい兆が差し込み喜んでおり、早稲と稲作が約30年待たれた朗報で、水と食と、孫の世代に於ては日常の生活に飲料水等の確保が安心と思っております。現在300世帯毎の住民が11の給水がスト、子どもが水不足専用水道を禁止してあります。行政心配の無い人は自然環境の破壊と公害対策を口にするが、既に自然環境の破壊の意思は11の生活が何れも忘れない欲しいと思っております。

人間の知恵と努力で自然の恵みは着大切だと思っております。是非早期のダムの着工に希望します。以上が所望致します。

敬. 17. 10. 12

兵庫県伊丹市

山本博之

